



iPhone と IMAP



IMAPおよびPOPで機能するメールソリューション

iPhoneは、Windows, UNIX, Linux、Mac OS Xなどを含むサーバプラットフォーム値域内で、技術標準IMAP4およびPOP3を使用するメールソリューションをサポートしています。

情報技術標準IMAP4rev1に関する詳細情報はこちら：www.imap.org

メールプロトコルIMAPをサポートしているiPhoneは、どんなメールサーバ環境にも対応できます。IMAPをサポートするサーバでユーザーの認証要求とSSLが設定されている場合、iPhoneは高い安全性を保ちながら標準に基づいた形でメールプログラムにアプローチします。通常の装備において、iPhoneはポート993経由でIMAPサーバに直接アクセスし、ポート587を介してSMTPサーバにアクセスします。これらのサーバはDMZ下のサブネットワーク内、または企業ネットワークのファイアウォールの後部、あるいはその両方に存在する場合があります。iPhoneはSSLに保護され、128bitでの暗号化と主要認証局が発行するX.509規格のルート証明書をサポートしています。また、iPhoneは技術標準MD5のチャレンジ/レスポンス認証やNTLMv2などの堅牢な認証方式をサポートしています。

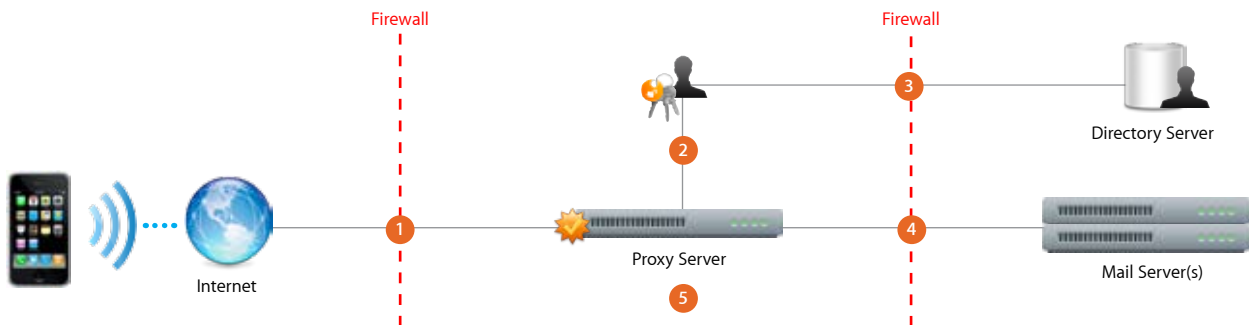
IMAP ネットワークの設定

iPhoneからIMAPベースのメールソリューションへの直接アクセスを可能にするには、IT管理者あるいはネットワーク管理者が以下のプロセスを完了しておく必要があります。

- ポート993を開放して、ファイアウォール超しにメールを受信できるようにします。プロキシサーバはSSLで保護されたIMAPに設定しなければなりません。メールがワイアレスで送信される部分の暗号化の安全性はSSLによって確保されます。
- さらに安全性を高めるために、VeriSignなどの信頼できる認証局(CA)からサーバにデジタル証明書をインストールすることを推奨します。認証局が発行する証明書をインストールすることは、企業インフラ内においてあなたのプロキシサーバが信頼できるものであることを保証するための重要なステップと言えます。
- iPhoneから送られてくるメールを受け取るために、ポート587、465または25を開放しておきます。iPhoneは自動的にまずポート587をチェックし、次にポート465、そして最後にポート25にアプローチします。もっとも信頼できて安全性が高いのは、ユーザの認証要求を行うポート587です。最も長く使用されていてハッカーの攻撃を受けやすいポート25は、安全性が一番低いと考えられています。そのため、一部のインターネット サービス プロバイダではスパム防止のために初期設定でこのポートをブロックしているところもあります。

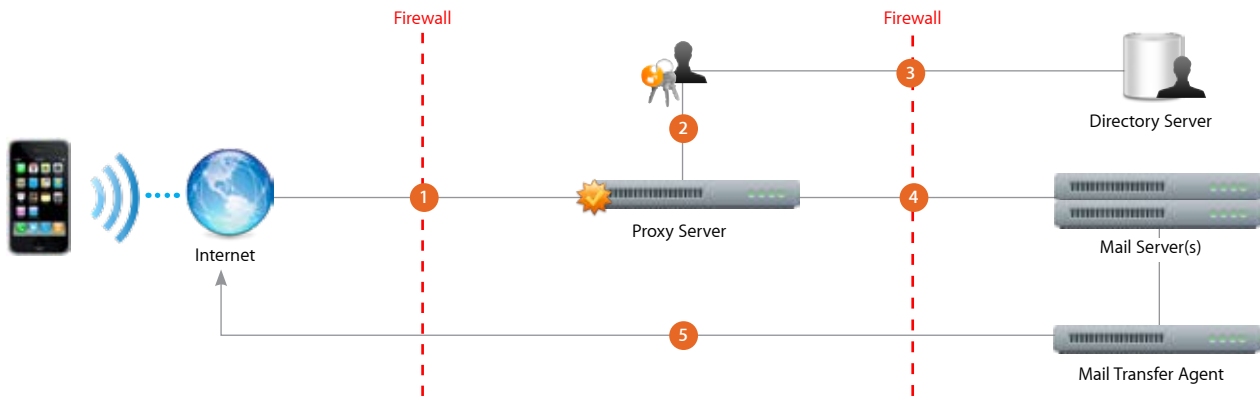
IMAP 展開シナリオ

メール受信



- ① iPhoneからポート993(IMAP/SSL)経由でメールへのアクセスを要求してきます。
- ② 次に、iPhoneユーザは企業ネットワークにアクセスするための認証を行わねばなりません。このプロセスはセキュリティゲートウェイとしての機能を持つプロキシサーバによって行われます。
- ③ プロキシサーバはダイレクトリサービスを使ってアカウント情報を検証します。
- ④ ユーザの認証確認が完了すると、プロキシサーバはメールサーバへのアクセスを許可します。
- ⑤ メールサーバ内のメッセージやアップデートされた情報が取り出され、ポート993を経由してユーザに提供され、ユーザは新しいメッセージやInboxに更新された情報をiPhoneで見ることができます。

メール送信



- ① 送信されたメールがポート587(SSL/TLS)経由のルートに入れられます。
- ② 送信リクエストがプロキシサーバ経由で流れます。
- ③ プロキシサーバがダイレクトリサービスを使って認証プロセスを開始します。
- ④ ユーザの認証が完了すると、メッセージはメールサーバへ移され、ユーザの送信済みフォルダーにコピーが作成されます。
- ⑤ メッセージはメール トランスファー エージェントによって処理され、ポート587を経由して外部の受信者へSMTP (SSL/TLS)を介して送信されます。